



## じいじがそだてたおこめ

みどり市立笠懸西小学校 1年 篠原 維 吹

ぼくがいつもたべているおこめは、ぼくのじいじがまいとし田んぼでつくってくれています。それをまいにちママがたいておちゃわんにいれてくれます。

まいとし五月になるとかそくみんなでじいじのいえにいて、じいじのおてつだいをします。ならべたはこに土をいれたり、たねをまいたり、みずをあげるおしごとです。

じいじのいえには、ばあばと大ばあばがすんでいて、おてつだいの日には、ぼくのかそくとパパのきょうだいとママのいとこもきます。みんながあつまるのでぼくはとてもうれしいです。

ぼくのおしごとは土をいれるはこをならべるかかりです。ぼくがならべたはこに、パパが土をいれて、じいじがきかいでたねをまきます。それをみんなではたけにはこびます。

ぼくがちいさいときは、「みてるだけだよ」といわれていたけど、てつだえるようになってうれしかったです。

たくさんあるおしごともみんなでやるとあつというまにおわります。

じいじのおてつだいがぜんぶおわたあとは、みんなでバーベキューをやります。ぼくはそれとてもたのしみです。

おにくもとってもおいしいけど、こうやってみんなでちからをあわせてつくったおこめだから、ぜったいにのこさないぞってきもちになります。

ぼくはしろいごはんがだいすきだから、いつもいっぱいおかわりしちゃうけど、おこめが一つぶものこらないようにおちゃわんをぴかぴかにするってかそくみんなでやくそくしてるから、まいにち一つぶものこさないようにたべたいです。

きゅうしょくのしろいごはんもだれかがたくさんがんばったのかなってきになります。

だから、ぴかぴかにしたいです。